

2 コンピュータ等を活用した授業モデル

1 単元名

奥・出雲の細道（教材 「おくの細道」冒頭部分・平泉、関連ウェブサイト）

2 育成を目指す言語能力

歴史的仮名遣いや古典の言いまわしや古語に注意を払いながら の の ムの

近な生活を見つめて「俳句+散文」を作るという表現課題を設定した。

(I) 古典の基礎知識を得させ興味を持たせるために教師のスピーチを行う

古典に興味関心を持たせると同時に、古典に関する知識を教養として身につけさせるために、
「おくの



句会「バーチャル紀行」
掲示板ソフトはKENT氏のG-LIGHTを使用



個人の

教師のスピーチ

前時は、「おくの細道」を朗読し、表現や語句

確認意欲付け（7分）

- 3 散文部分の表現や語句を参考にして、作句することができる。(語句の意味や用法)
 - 4 芭蕉のものの見方や考え方を理解し、自分の見方や考え方と比べて感想を持つ。(ものの見方や考え方)
- (オ) 言語についての知識・理解・技能
- 1 俳句や古文を正確